



こしんでん

令和5年4月7日発行

— 第1号 —

浅羽東小学校のHP <https://asabahigashi-e.fukuroi.ed.jp>

学校メールアドレス asahigashi-s@orange.ocn.ne.jp



本日開催した入学式では、笑顔とやる気に満ちた35人の1年生が元気に入學しました。

午後には、2年生から6年生の児童が登校し、新任式と始業式を行いました。令和5年度の浅羽東小学校は、全校児童328人で、スタートしました。

あたらしい年だね!

さあ、しゅっぱつよ!



令和5年度も重点目標は、「自分も相手も大切にする子」です。この目標を達成し

ていく子どもたちの姿や言動が、本校の文化となっていくことを願って、「東小の文化をつくる」というサブ目標を追加しました。

昨年度の取り組みにより、「自分も相手も大切にする子」という目標は子どもたちにも教職員にもかなり浸透してきています。相手の気持ちも自分の気持ちも大切にしている子どもたちの姿が、様々な場面で見られるようになってきました。

今年は、保護者の皆様とも、地域の皆様とも「自分も相手も大切にする子」という目標の共有を深め、協働しながら子どもたちの成長を支援していきたいと考えています。

本日の始業式で、子どもたちと目標を共有しました。その中で、いくつか具体的な例を挙げながら「文化とは、そこで生活する人の間で定着していく習慣や考え方」であることを説明しました。「家に入る時には靴を脱ぐ」というのは、日本の生活習慣、日本の文化の一つです。世界には、土足のまま家の中で生活する国もあります。国によって文化や習慣は異なります。同じ日本であっても、「脱いだ靴は玄関にきちんとそろえておく」のか「脱ぎっぱなし」なのかは、家庭によって異なります。その家庭で生活する人の間で、何が定着し、習慣となっているのか、そこで生活する人の考え方によるのです。それがその家庭、家族の文化と言えるのかもしれませんが。では、東小で生活する私たちの間では、どんな文化がつくられているのでしょうか。

始業式では、本校の実態と課題から、次の3つを東小の文化にしたいと伝えました。

- ① 東小の子は、相手のことを大切にして話を聴きます
- ② 東小の子は、相手の心に届くあいさつをします
- ③ 東小の子は、いじめを許しません。

相手を大切にしたい聴き方は、自分自身の学力向上と集団における規範意識の醸成につながります。

あいさつは、「相手を大切にする」との具体的な姿の一つです。登下校中だけでなく、校内でも学校を訪れたお客様や工事などで入ってこられる方々にも、自然とあいさつができる子になってほしいと願っています。あいさつができる人や「ありがとう」をきちんとと言える人は、人から愛され大切にされると言われます。あいさつをすることは、「自分を大切にする」ことにもつながっていると考えています。

いじめを許さない文化を東小につくるということは、だれもが有する「安心して学校で学ぶ、生活する権利」を守るということです。

子どもたちと気持ちを一つにしてワクワクする、楽しい浅羽東小を作っていきたいと思っています。



～令和5年度 職員紹介～

本年度の職員です。精一杯頑張っていきます。
本校の教育活動への御支援、御協力をお願いいたします。



- 1 学校だより、学年だより、ホームページ等にお子様の氏名や活動風景の写真等を掲載することがあります。御家庭の都合等により、名前や写真の掲載を希望されない場合は担任まで御連絡ください。なお、ホームページにおいては、写真により個人が特定されないことがないように名前と写真を一緒に掲載することはいたしません。
- 2 月予定と下校時刻は、前の月の20日頃、「コドモン」にて配信します。学年だよりは、必要に応じて発行いたします。
- 3 今年度も袋井市より携帯電話が支給されています。学校から御家庭へ電話する場合に使用しますので、登録をお願いします。なお、これらの番号は、発信専用となります。学校に電話をかける場合は、固定電話(0538)23-6669へお願いします。

<発信専用学校携帯電話>

070-8686-0375

070-8686-0376

070-8686-0377

※昨年度と同じ番号で変更はありません。

